

2024年度 部局 FD 活動報告

工学部・研究科（情報工学科除く）

<p>1. 各部局のFDの検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください）</p> <p>工学研究科の全教員を対象としたFD集会は、公立大学工学教務委員会で企画している。その他教育改善に係わる情報も工学教務委員会で共有している。また、各学科・分野ごとにFD会議を開催することで、各科目や各教育課程に関する改善や情報共有を個別に行っている。</p>		
<p>2. 教育改善・教育評価・FDに関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催</p>		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
2024.08.26	工学FDセミナー「高等学校における学習指導要領改訂に伴う数学科教育の今」	165人
<p>3. 教育改善・教育評価・FDに関する会議、委員会等の開催</p>		
会議・委員会名	内容・開催日 (複数回の場合は「第1回(*月*日)〜について」 「第2回…」と記載)	委員の人数
第1回工学FD報告会	2024年度の工学研究科の各学科・専攻におけるFD取り組みの概要を発表し、情報を共有した(3月13日)	22人
航空宇宙工学FD会議	月1回の教室会議において、学生の履修状況や学習成果についての点検・評価と、教育の質の改善・向上に関する検討を実施(12回)。	12人
2024年度第1回海洋システム工学科/分野FD会議	2024年度海洋システム工学概論 工場見学の実施内容の検討、入学者成績分布状況、入学時アンケートの分析(4月23日)	11人
2024年度第2回海洋システム工学科/分野FD会議	2025年度後期森ノ宮キャンパス開設に伴う基幹教育科目に関する検討、総合型選抜の募集要項について協議(5月21日)	11人
2024年度第3回海洋システム工学科/分野FD会議	2023年度外部評価委員会議事録、アンケート及び回答の確認(6月25日)	11人
2024年度第4回海洋システム工学科/分野FD会議	2024年度海洋システム総合演習の内容及びスケジュールについて協議(7月23日)	11人
2024年度第5回海洋システム工学科/分野FD会議	学部入試定員について、海洋システム工学科学技術英語について、自習室のネーミングライツについて協議、総合型選抜入学生の現状についての情報共有(9月17日)	11人
2024年度第6回海洋システム工学科/分野FD会議	博士前期課程英語コース提供科目について、ユニバーサル人材認定プログラムの認定条件について協議(10月29日)	11人

2024年度第7回海洋システム工学科/分野FD会議	2025年度初年次ゼミナールおよび「エンジニアのためのキャリアデザイン」担当者選出、2024年度前期科目GPCの共有と協議(11月26日)	11人
2024年度第8回海洋システム工学科/分野FD会議	工学部インターンシップ担当者について、2025年度「海洋システム特殊講義の実施方法、内容および担当者について、協議(12月24日)	11人
2024年度第9回海洋システム工学科/分野FD会議	卒業研究ルーブリックの内容確認、外部評価委員会の開催および内容について、協議(1月28日)	11人
2024年度第10回海洋システム工学科/分野FD会議	2025年度一般選抜志願状況と今後の対応について、外部評価委員会の開催および内容について、協議(2月21日)	11人
2024年度海洋システム工学科/分野FD外部評価委員会	分野FD外部評価委員会を開催。以下の内容を報告し、外部評価委員より、評価・意見を頂く。 ・2024年度活動報告(入試・教育・研究) ・入学者分析、分野将来構想、研究発信状況 ・その他大学の状況(3月18日)	20人
2024年度第11回海洋システム工学科/分野FD会議	年度のFD活動の振り返り(3月25日)	11人
教育点検・生活指導委員会	学生の履修状況や授業の問題点等を教員間で情報共有し、対応が必要な学生の分野内アドバイザーへ対応を依頼した(5/23, 6/27, 7/25, 8/23, 9/26, 10/31, 11/28, 1/30).	30人/回
第1回機械工学科FD集会	学科専門科目の科目間のGPCの分布、ていらみずの学生指導への活用、2026年度以降のカリキュラム変更について意見交換および協議(11/14)	30人
第2回機械工学科FD集会	2026年度以降の基礎教育科目のカリキュラム、次年度4回生の研究室配属の方法について協議(12/12)	30人
第3回機械工学科FD集会	学科全体の研究活動を促進するための施策・講義内容について意見交換および協議(3/13)	30人
機械工学・科目間調整WG	・機械数学演習:演習の内容・運営の協議(7/30)、今年度の授業の振り返りと改善点を協議(3/14)(6名) ・機械工作実習:今年度の実習内容や経費の確認(3/18)、他学科の実習実施状況の情報共有、実習に関わる諸問題の協議(7/17).(12名) ・機械基礎実験:今年度の科目運営(4/15)、発表会の開催方法(5/27)、成績の評価(6/10)、欠席学生の対応(7/1)などについて協議した他、授業実施期間を通じて学生の出欠状況を情報共有した(18名) ・機械応用実験:本年度の履修者、実施の内容、成績評価の方	36人

	<p>法について協議(9/20). 実験装置の動作や指導方法を現場で確認(9/26)(6名)</p> <p>・機械製図演習: 関連科目の「機械設計演習」・「機械製作実習」との連携について協議し, 教材・授業方法について意見を共有. (12/24)(3名)</p> <p>・機械製作実習: 今年度実施内容の振り返り, 成績評価方法の確認(1/7)(5名)</p>	
公大建築会議	第3回(8月9日) 学生から教員に聞いてみたいこと	11人+学生
公大建築会議	第4回(2月17日) 学生による研究室トーク	9人+学生
都市学科FD集会	<p>第1回(10月7日)</p> <p>「2024 入学時アンケート、2023 修了時アンケートの集計結果」、「総合型選抜入試入学生の動向調査」、「2024 年度都市学科オープンキャンパス参加者アンケート結果」について情報共有と意見交換を実施</p> <p>第2回(3月3日)</p> <p>「編入学入試学生の動向調査」、「輪番担当科目の実施状況」について意見交換を実施</p>	20人
電子物理系専攻教授会	<p>第1回(4月25日) 学生異動, 既修得単位認定, 大学院入試(飛び級制度), 研究指導計画書の作成について</p> <p>第2回(5月23日) 早期卒業, 大学院入試, FD活動の取組について</p> <p>第3回(6月27日) 学生異動, 編入学試験, 大学院入試科目について</p> <p>第4回(7月25日) 学生異動, 大学院入試実施について</p> <p>第5回(9月26日) 学生異動, 電子物理工学概論1単位取得状況確認, B2コース配属について</p> <p>第6回(10月31日) 学生異動, 大学院入試実施状況について</p> <p>第7回(11月28日) 教職課程, 推薦入試, 2026年度以降のカリキュラム変更について</p> <p>第8回(12月26日) 教職課程, 学校推薦型選抜, B3編入学生のコース振り分けについて</p> <p>第9回(1月30日) FD活動報告, 学生派遣について</p> <p>第10回(2月27日), 第11回(3月27日)</p>	16人
電子物理系専攻全体会議	上述した専攻教授会と同じ日程で開催し、同会議の内容を構成員間で共有した(計11回)。	46人
電子物理工学(電子物性コース)担当者会議	<p>上述した専攻教授会の内容に加え、</p> <p>第1回(4月25日) 卒論・修論発表, 集中講義</p> <p>第2回(5月23日) 研究指導計画書, 飛び級, 編入学試験,</p>	10人

	<p>高専への学科説明会</p> <p>第3回(6月27日) 大学院入試, B4 配属ルール整理</p> <p>第4回(7月25日) B2 コース配属</p> <p>第5回(9月26日) 卒論(B4) 中間発表会の日程確認</p> <p>第6回(10月31日) 修論の主査担当, 次年度集中講義, B4 中間発表会, B4 配属ルール, 研究室説明会(B3 対象)</p> <p>第7回(11月28日) 次年度集中講義, D3 公聴会, 研究室説明会, 講義の廃止・遠隔授業</p> <p>第8回(12月26日) 卒論・修論, 2025 年度研究室配属, 2025 年度講義担当</p> <p>第9回(1月30日) 卒論・修論発表, 進路相談, R7 年度研究室配属</p> <p>* 毎回: 進路状況(進学・就職)の確認, および成績不良者への対応に関する報告・意見集約</p>	
電子物理工学 (電子物性コース) 教室会議	上述した専攻教授会・講担会議と同じ日程で開催し、上記2会議の内容を構成員間で共有した(計11回)。	30人
電子物理工学実験 (電子物性コース) 会議	<p>第1回(4月4日) 新任教員への指導方針の確認および指導内容の引継ぎ</p> <p>第2回(8月20日) 新任教員を含む、担当教員の変更に伴う指導方針の確認と指導内容の引継ぎ</p> <p>第3回(2月27日) 担当教員の変更および指導内容の改善に関する会議</p>	3~4名 (第3回は9名)
電子物理工学 (電子材料コース) FD 会議	<p>第1回(4月25日) 第2回(5月23日)</p> <p>第3回(6月27日) 第4回(7月25日)</p> <p>第5回(9月26日) 第6回(10月31日)</p> <p>第7回(11月28日) 第8回(12月26日)</p> <p>第9回(1月30日) 第10回(2月27日)</p> <p>上記の専攻教授会の内容を構成員に共有</p>	16人
電子物理工学実験 (電子材料コース) FD 会議	<p>第1回(8月15日) 電子物理工学実験1(電子材料)評価基準について協議</p> <p>第2回(12月3日) 2025 年度の実験テーマについて検討</p> <p>第3回(2月12日) 電子物理工学実験2(電子材料)評価基準について協議</p>	9人
電気電子システム工学 科 分野教育改革会議	部局の教育委員会の情報共有し、分野の教育方針の審議などを行う(月例/8月休会、年11回開催)	7人
電気電子システム工学 科 実験委員会	分野が担当する実験に関して方針、学生の受講状況などを共有する。(定例/年3回開催)	14人
応用化学科 教育委員会	公大での新設科目(応用化学概論、応用化学総合演習)に関する実施内容検討	

	<p>第1回(1月28日) 応用化学概論および応用化学総合演習について今年度の振り返りと次年度の実施計画について</p> <p>第2回(3月24日) 応用化学概論および応用化学総合演習についての次年度の実施計画について</p>	<p>15人/回</p> <p>13人/回</p>
<p>応用化学科 教室会議</p>	<p>公大での新設科目及び学科全教員で担当する科目の今年度の実施状況及び次年度の準備状況の情報共有と検討</p> <p>第1回(7月22日) 前期の履修状況の情報共有と新設科目(応用化学概論)の実施・準備状況について</p> <p>第2回(12月23日) 後期の履修状況の情報共有と新設科目(応用化学総合演習)の実施・準備状況について</p>	<p>26人/回</p>
<p>化学工学科・教室会議 と職員会議</p>	<p>4月22日: 専門科目授業の進捗状況、在学生の履修指導、コンタクト教員制度による1年次生・2年次生の面談計画、4年次生の研究室配属後の状況、博士前期学生の就職状況、博士後期学生の進捗状況、履修登録に問題のある学生の抽出について</p> <p>5月27日: 教務委員会/教育運営委員会報告、専門科目授業の進捗状況、博士前期学生の就職状況、入学時アンケートへの対応、コンタクト教員からの面談報告について</p> <p>6月24日: 教務委員会/教育運営委員会報告、専門科目授業の進捗状況と中間試験の成績不審者、実験科目のレポート提出状況、博士前期学生の就職状況、化学工学序論・化学工学英語演習の実施状況、編入学試験の実施状況、コンタクト教員からの面談報告について</p> <p>7月29日: 教務委員会/教育運営委員会報告、専門科目授業の進捗状況と成績不審者および多回欠席者、実験科目のレポート提出状況、博士前期学生の就職状況、化学工学序論の研究室見学について</p> <p>8月21日: 大学院入試の状況、大学院A群科目の評価、前期授業の成績不審者や実験科目や必修科目の不合格者について</p> <p>9月30日: 教務委員会/教育運営委員会報告、専門科目授業の進捗状況、博士前期学生の就職状況、前期授業の成績不審者や実験科目や必修科目の不合格者への面談状況、コンタクト教員制度による1年次生の面談計画、在学生の単位習得状況について</p> <p>10月28日: 教務委員会/教育運営委員会報告、専門科目授業の進捗状況、博士前期学生の就職状況、前期授業の成績不審者や実験科目や必修科目の不合格者への面談状況、進級が危ぶまれる学生の面談結果、3年次編入生に対する学科教育と単位認定科目間のギャップを埋めるための対策、博士前期課程学生への大学院博士後期進学・就職についての説明会、</p>	<p>15人</p>

	<p>コンタクト教員からの面談報告、編入学試験 PR について</p> <p>11 月 25 日：教務委員会／教育運営委員会報告、専門科目授業の進捗状況、博士前期学生の就職状況、オープンラボ、3 年次編入生の単位認定とガイダンス、博士後期課程学生の博士論文の論文投稿状況、コンタクト教員からの面談報告、完成年度に向けたカリキュラムの見直しについて</p> <p>12 月 23 日：教務委員会／教育運営委員会報告、専門科目授業の進捗状況、博士前期学生の就職状況、オープンラボ実施報告、卒論・修論発表・大学院博士前期 1 年学生の間接発表、新入生・在校生オリエンテーション、博士後期課程学生の論文投稿状況、完成年度に向けたカリキュラムの見直し、物理学基礎実験 1B への対応について</p> <p>1 月 27 日：教務委員会／教育運営委員会報告、専門科目授業の進捗状況、必携 PC の部局独自スペック、博士後期課程学生の博士論文提出・査読状況、物理学基礎実験 1B への対応結果、博士後期課程学生の公聴会について</p> <p>2 月 13 日：卒業研究と大学院 A 群科目の評価、卒業研究発表賞と M1 ポスター発表優秀賞の選定について</p> <p>2 月 27 日：教務委員会／教育運営委員会報告、修士研究発表賞と化工研究業績賞の選定、化学工学序論・化学工学英語演習の実施方法、学生アドバイザーによる 1 年次生、2 年次生の個別ガイダンス、進級できない 3 年次生のケア、3 年次編入生への履修指導について</p> <p>3 月 25 日：教務委員会／教育運営委員会報告、新入生・在校生オリエンテーション、化学工学序論・化学工学英語演習の実施方法、在学生の単位習得状況、次年度授業分担について</p>	
<p>マテリアル工学・ 2024 年度教室会議</p>	<p>第 1 回（4 月 24 日）大学院入学者報告、中国科学院との交流会、再編案、副指導教員制度などについて</p> <p>第 2 回（5 月 22 日）公立大高専説明会、FD 活動の取り組み、大学院他専攻科目の履修登録、研究室学生の配置換え、飛び級生などについて</p> <p>第 3 回（6 月 26 日）毒劇物管理、FD セミナー、オープンキャンパス、大学院履修登録について</p> <p>第 4 回（7 月 24 日）英語単位認定、大学院入試実施状況、博士後期課程の人数、大学院入試の入学試験科目変更、副指導教員制度の実施状況などについて</p> <p>第 5 回（9 月 25 日）後期休学者、分野 HP の運用、テクノラボツアー、マテリアル工学実験などについて</p> <p>第 6 回（10 月 30 日）学生のキャンパス内施設の滞在時間、</p>	<p>12 人／回</p>

	<p>入試方法，ていら・みすへの学生アドバイザー等による履修指導の入力状況，QS 世界大学ランキングの評判調査への協力依頼，配慮が必要な学生への対応などについて</p> <p>第 7 回（11 月 29 日）学生の不正行為，入試女子枠の設定などについて</p> <p>第 8 回（12 月 25 日）大学院入試博士後期課程の出願者について，教職課程，学生実験の担当者および内容，修論・卒論発表会などについて</p> <p>第 9 回（1 月 29 日）2026 年度以降のカリキュラム，講義担当，卒研配属，外国人留学生特別選抜の出願資格などについて</p>	
化学バイオ工学科 FD 集会	<p>化学バイオ工学科FD集会（1月28日）にて，以下の項目について確認および討議を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入試の状況に関して（大学選定の際に役立ったこと） 2. オープンキャンパスへの参加状況 3. 大学院進学予定者の博士課程への進学意欲について 4. 修了時アンケートの入学時アンケートとの比較 	20 人
化学バイオ工学分野会議	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回分野会議（4 月 23 日）にて，学生の履修，就学状況について確認および討議した。 ・第 2 回分野会議（5 月 20 日）にて，学部・大学院入試，学生の動向について情報共有および討議した。 ・第 3 回分野会議（6 月 25 日）にて，学部・大学院入試，学生の動向について確認および討議した。 ・第 4 回分野会議（7 月 22 日）にて，学生の動向，学部・大学院入試，授業カリキュラムについて情報共有，確認および討議した。 ・第 5 回分野会議（8 月 23 日）にて，学生の動向について情報共有および討議した。 ・第 6 回分野会議（9 月 24 日）にて，大学院入試，学生の動向について情報共有および討議した。 ・第 7 回分野会議（10 月 28 日）にて，学部・大学院入試，学部カリキュラムについて確認および討議した。 ・第 8 回分野会議（11 月 21 日）にて，大学院入試，学部カリキュラムについて確認および討議した。 ・第 9 回分野会議（12 月 23 日）にて，大学院入試，学部カリキュラムについて確認および討議した。 ・第 10 回分野会議（1 月 28 日）にて，学部カリキュラム，修士論文発表会，卒論発表会，学生の動向について確認および討議した。 ・第 11 回分野会議（2 月 28 日）にて，学部・大学院入試， 	20 人

	<p>学部カリキュラム、学生の動向について確認および討議した。</p> <p>・第12回分野会議（3月26日）にて、大学入試、学生の動向について情報共有および討議した。</p>	
量子放射線工学分野 FD 会議	<p>第1回（4月19日）、第2回（5月17日）、第3回（6月21日）、第4回（7月19日）、第5回（9月20日）、第6回（10月25日）、第7回（11月22日）、第8回（12月20日）、第9回（1月24日）、第10回（2月21日）、第11回（3月21日）</p> <p>上記、月1回のFD会議を開催し専攻提供の講義の実施内容の計画について、学生の研究状取り組み状況について、学生の中間報告会実施について、修士論文発表会における学生発表に対する審査及び評価採点による表彰内容について、それぞれ協議。その他、量子主催テクノラボツアー（11月11日）への学生参加呼び掛けについての周知確認。学生の講義出席状況を確認報告し出席率の悪い学生への指導方法について検討。</p>	11人
量子放射線工学分野臨時 FD 会議（12月23日 オンライン）	<p>博士前期学生の中間報告に対し研究進展状況及び就職活動状況について確認。分野提供科目についての廃止科目及び新規開講科目等カリキュラムと実施内容について確認。</p>	10人
量子放射線工学分野臨時 FD 会議（1月6日 オンライン）	<p>分野の今後の運営に関連し、学生獲得及び指導方法と分野内講義担当などについて討議。</p>	11人

4. 上記以外の教育改善・FDに関する取組

(工学全体)

・2024年度に入学した学部生および大学院生を対象に入学時アンケートを実施し、本学で身につけたい能力や将来取得したい学位など幅広い項目で調査を行なった。結果は工学部内で共有した。

・2024年度に修了する博士前期課程大学院生を対象に修了時アンケートを実施。(2025年3月)

(航空宇宙工学科、航空宇宙工学分野)

・新入生オリエンテーション、学年ガイダンス

・授業評価アンケートの実施と授業改善の検討

・卒論発表優秀賞、および修論発表優秀賞、修論アイデア賞の選出

・「航空宇宙工学工作実習」（前期木曜3・4コマ）について、今年度実施した学科独自の実施状況を踏まえ、来年度に向けた内容の改善を検討

・学部入学制度と在籍学生の成績の分析

(海洋システム工学科、海洋システム工学分野)

・卒業研究ルーブリックの運用を開始するとともに、「海洋システム工学実験」へも展開し、これらによ

る評価結果についてその検討について議論し、引き続き運用することを決めた。

・2024年度の「海洋システム工学機械工作実習」において、外部企業の協力のものと学外での実習を含める形で実施し、その効果について議論するとともに2025年度以降も同形態を継続することを決めた。

・前年度に引き続き、旧カリキュラムと新カリキュラムの接続について協議し、内容の微調整および担当者の変更等を協議し決定した。

・前年度に引き続き、入学区分や学年ごとの成績データを解析し、学生動向や成績動向について調査した。

・前年度に引き続き、外部評価試験結果（2013年度まで StudentEQ 等→2024年度以降 PROG）と成績および教育プログラムとの関係を分析した。

(機械工学科、機械工学分野)

・3年生に進級時のコース分けの方法と受講科目について説明した。

・アドバイザーを中心に成績不振者に対して履修指導を行った。

(建築学科・建築学分野)

・月1回程度開催される学科会議において、学生の就学状況に関する情報を共有し、必要な場合には対策について協議・検討を行った。

・学年横断型の設計課題講評会(Vertical Review)を、公大建築会議と併せて前後期各1回開催した。

・外部講師を招いた講評会において卒業設計最優秀賞を授与した。(2/18)

・学科での卒業証書授与式において、建築学科賞(論文)および建築学科賞(設計)をそれぞれ授与した。(3/24)

・学科 OB・OG による職業ガイダンスを実施した。(7/10,17)

(都市学科・都市学分野)

・学科会議(毎月開催)にて、各学年の学生の履修状況を随時確認した(学生アドバイザーによる報告)。

・卒業研究評価会の運営方法および評価方法について意見交換を行い、これまでの内容の振り返りと海改訂を行った。

・拡大教務委員会を開催(9/18、11/18、1/31、3月)し、完成年度以降の学科提供科目の検討と資格、演習系科目の科目間連携について協議した。

・臨時学科会議を開催し、学科としての将来構想について意見交換した。

・演習科目や実験科目毎にワーキンググループ活動を行い、演習・実験科目の継続的な品質向上を図った。

・B3、M1 向けに都市学科関連業界の説明会を複数回実施した。

(電子物理工学科、電子物理工学分野)

○共通

・カリキュラムオリエンテーションを利用して、新入生が大学生活を滞りなくスタートできるように、新入生向けの導入研修を実施した(4月2日実施)。

・学部生、院生(M,D)向けのオリエンテーションを実施し、大学生活および単位修得に関する注意喚起を行った(4月1,3日実施)

・教室会議において、入学試験及び入学時アンケートの情報を共有した。

・特に「電子物理工学概論1,2」では1年生の意識調査に関するアンケートを実施し、学科内で共有した。アンケート結果を基にして、次年度はより充実した講義にするための意見交換を行った。また、「電子物理工学概論1,2」の成績を基にして成績不振者の動向に関する情報を共有した。

・工学FDセミナー等の学内FDセミナーに参加した(詳細は6.で説明)。

○電子物性コース

- ・講担会議・教室会議を定期的実施し、教育の質の改善・向上に関する取り組みを実施している。
- ・前期・後期に実施する授業評価アンケートの分析結果の情報を共有した。
- ・卒業・修了時アンケートの情報を共有した。
- ・特に M2 怠惰学生に対する設定した指導ルールを確認・実行した。
- ・教育 PDCA サイクルを実践すると同時に課題点を洗い出し、講担会議・教室会議 (各 11 回) を通して、解決に向けた検討を行った。FD 活動報告会の後、学外チェック委員にコメントをいただき、来年度以降の課題を整理した。
- ・電子物理工学実験 I, II について、出席・レポート提出状況を担当教員以外も参照できるようにすることで、主任や学年アドバイザーの教員等が適宜サポートできる体制を整えた。
- ・大学院講義において海外からの特別履修生対象に、講義内容の理解を助けるための英文の補足資料を作成して提供した。最終レポートの記述内容より講義理解に有効であったことが確認できた。
- ・アセスメントシートに基づく点検について講担会議および教室会議で情報共有・意見交換を行い、点検内容に問題がないことおよび実効性が伴っていることを確認した。

○電子材料コース

- ・教室会議を定期的実施し、教育の質の改善・向上に関する取り組みを実施している。
- ・前期・後期実施する授業評価アンケートの分析結果の情報を共有した。
- ・2024 年度の卒業・修了時アンケートの情報を共有した。
- ・電子物理工学実験 1 (電子材料) で開講するテーマ「研究開発実務研修」での工場見学先を実験科目担当教員全員で協議し、日清紡マイクロデバイス株式会社を訪問先として決定した。
- ・電子物理工学実験 1 (電子材料) の成績講評を実験科目担当教員全員で行い、情報を共有した。
- ・2025 年度の電子物理工学実験 2 (電子材料) の学習向上のための実験テーマの検討。

(電気電子システム工学科、電気電子システム工学分野)

- ・大学の実施する学生アンケートを学科独自で集計を行い、教員間で共有した。
- ・3 年生後期の実験科目のまとめとして成果発表会を実施した。実験担当以外の教員も参加し、実験 担当者以外の視点からのコメントを行った。コメントは学生がレポート内にまとめることで実験担当者が共有した。
- ・3 年生に研究室の雰囲気を知ってもらい、研究室配属先選択の一助とするため 12/2~6 に分野全研究室の研究室見学会(オープンラボ)を開催した。
- ・3 年生に配属希望研究室の研究内容を知ってもらうため、M1 科目の特別演習第 2 で実施するポスター発表会を 3 年生の実験科目の中に組み込んだ。

(応用化学科、応用化学分野)

- ・学年毎に3名の担任教員を設け、4月にカリキュラムに関するオリエンテーションを実施し、年間を通して学生からの相談に応じることのできる体制を敷いている。
- ・実験科目については、基礎教育科目である1年次の基礎化学実験の担当として、学科から複数の教員を出すことによって入学直後の学生の化学に関する理解度を把握し、2年次以降に実施する専門科目である応用化学実験につなげるための学科内での情報共有を行っている。
- ・演習科目については、理解度や学習状況を把握するためのアンケートを実施し、次年度以降の授業改善に向けて活用することになっている。

(化学工学科、化学工学分野)

○学部・課程

・化学工学科（1-3年生）および化学工学課程（4年生）では、4月および必要な時期に、学年ごとにとりまとめたガイダンス資料に基づいたカリキュラムオリエンテーションを開き、学生の履修相談等に積極的に助言を与える。また、3年次編入学の学生に対しても別途ガイダンスを開き、単位認定も踏まえた卒業に向けてのガイダンスを行う。

・授業の履修や学生生活における相談窓口として、学生アドバイザーに加え、いつでも教員と相談できるコンタクト教員制度を導入し、修学・進路・家庭・課外活動・その他学生生活全般についての相談に応じるとともに、指導または助言を与える。特に成績不振者や過年度生について、学生アドバイザーが面談を行い、適切な助言を行う。

・毎月、教室会議終了後に職員会議を開催し、授業の履修・出席状況を確認し、学生アドバイザーやコンタクト教員による対応など、問題解決のための協議を行う。

・独自のマークシート式の授業アンケート、職員会議、カリキュラム委員会などで挙げた意見や問題を話し合い、教育の質の改善・向上に生かす取組みを続ける。

・内部質保証の観点から、学卒の程度の化学工学に関連した専門的応用能力を持っている「技術者」「研究者」を対象にした外部試験として「化学工学技士（基礎）」の受験を推奨し、その結果を今後の教育に反映する。

○大学院

・博士前期課程および博士後期課程のすべての学年に対して、ガイダンス資料に基づいたカリキュラムオリエンテーションを開き、学生の履修相談、研究の進捗などに積極的に助言を与える。また、大学院博士後期課程進学における経済的なサポート状況などの大学や工学研究科の制度などを詳しく説明する説明会を開催する。

・指導教員のみならず分野長、副分野長、教務委員などが、家庭・課外活動・その他学生生活全般についての相談に応じるとともに、指導または助言を与える。

・毎月授業の履修・出席、研究室での研究の進捗状況を確認し、教室会議終了後の職員会議で報告し、研究指導教員による対応など、問題解決のための協議をする。

・大学院の博士後期課程学生の博士研究の進捗状況を分野全教員で共有する。

・独自のマークシート式の授業アンケート、職員会議、カリキュラム委員会などで挙げた意見や問題を話し合い、教育の質の改善・向上に生かす取組みを続ける。

（マテリアル工学科・マテリアル工学分野）

・学科／分野内FD活動計画・進捗などについて議論するため、ワーキンググループを編制した。

・毎月開催される担当者会議、教室会議内で成績不振者への対応など学科のFD全般について議論した。

・学生本人の希望に基づき副指導教員を決定し、定期的な面談を行い、精神的なケアを含む研究指導のサポートを行った。

・アクティブラーニング等を取り入れた新しい授業形態について情報共有した。

・ていら・みずの活用法に関して情報共有を行った。

・成績不審者へのメール連絡または面談を行った。

・全学／工学FDセミナーへの参加を呼び掛けた。

・完成年度以降のカリキュラム、時間割等について議論した。

・教員人員構成の変化に対応し、講義担当者、講義科目および内容の見直しを行った。

・国内外から著名な研究者を招き講演会を開催し、最先端の研究内容について学ぶ機会を設けた。

・入試区分と成績との相関について議論した。

(化学バイオ工学科, 物質化学生命系化学バイオ工学分野)

・1-3回生全員に対し, 学生自身による単位取得状況振り返りの機会を設けるとともに, 教員との個人面談を行い履修計画に対するアドバイス等を半期ごとに行った。4回生および大学院生に対しては, 所属研究室の研究指導教員が適宜対応した。

・月1回開催の学科・分野会議において, 注意が必要な学生の動向に関する情報を共有し, 適宜対応を協議した。

(量子放射線系専攻)

・学内外で開催されている放射線教育関連の催し等の機会を通じて中学・高校教員等の意見交換し, その中で得られた情報を上記FD会議で共有し, その成果を分野の教育活動に役立てた。

・M1の中間発表会を実施し, それらの発表に対する講評により学生の研究質の工場を図る取り組みを行った。

5. 年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数 [実数] (必ずご記入ください)

・年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数 (250) 人

・所属内の専任教員の人数 (252) 人

6. その他、追記事項

(航空宇宙工学科, 航空宇宙工学分野)

・航空宇宙工学科では, 編入学試験問題作成委員会を組織し, 各年度の試験問題について検討している。航空宇宙工学分野では, 大学院入試委員会(専門基礎/専門科目作成委員会)を組織し, 各年度の大学院入試問題および入試全般に関して検討している。

(電子物理工学科, 電子物理工学分野)

○電子物性コース

・講担会議・教室会議を定期的実施し, 教育の質の改善・向上に関する取り組みを実施している。

・学生の成績(GP)を基にして成績不振者の動向に関する情報を共有した。

・電子材料コースの過年度生(旧市大電物所属学生)の学習意欲を高めるためにB7棟E316室を学習室として整備した。

・退官する教員の受け持つ講義を今後どのように引き継ぐか協議した

○セミナー等の参加状況

2024.04.18 全学FDセミナー「内部質保証スタートアップ支援事業成果報告会」 参加4名

2024.5.31 全学FDセミナー「大学教育研究セミナー“OCU指標からみる大阪市立大学学生の学修成果”」 参加7名

2024.06.18 全学FDセミナー「moodle活用講座」 参加6名

2024.08.26 工学FDセミナー/高大接続セミナー「高等学校における学習指導要領改訂に伴う数学科教育の今」 参加26名

2024.09.09 Turnitin社FeedBackStudio剽窃チェックツールの教員向け説明会 参加2名

2024.09.10 全学FD研究会「本学における健康教育・支援の取組み」 参加3名

2024.11.06 全学FD「大阪公立大学学生の1年次の学修に関する調査結果報告」 参加6名

2024.11.29 第3回教育改革フォーラム「より良い授業のためのインストラクショナルデザイン」

参加1名

2025.01.24 第1回FDワークショップ「大学で働く人のメンタルヘルスケア」 参加3名

オンデマンド アンコンシャスバイアス研修 1名

(電気電子システム工学科、電気電子システム工学分野)

・学生用の Teams のグループを作成・活用し、学生向けの案内や情報共有ができる環境を整え、学生教育へ役立てた。